

研修 評価

研修名	新潟県委託事業 看護職のための自殺予防と対策（Ⅱ）（ZOOM） ～看護職がゲートキーパーとしての役割を果たせるために～				
領 域	臨床実践能力 (ニーズをとらえる力)	会場	新潟県看護研修 センター	受講料	無料
対 象	学習段階レベル（Ⅰ～Ⅳ） 募集数(90人)応募数(39人)参加数(35人)会員数(17人)非会員数(18人)				
日 時	令和7年 11月17日（月曜日） 9:30 ～ 16:40				
ねらい（目標）	1) うつ病の早期発見と対応のポイントを学ぶ。 2) うつ病傾向にある患者の関わり方を学ぶ。 3) 事例を通して地域で支える仕組みについて学ぶ。				
講 師	【情報提供】 星 氏 新潟県福祉保健部障害福祉課いのちとこころの支援室 【講義Ⅰ】 福島 昇 新潟市こころの健康センター所長 【講義Ⅱ】 関谷昭吉 新潟青陵大学福祉心理学部臨床心理学科 准教授 医学博士 公認心理士 精神保健福祉士 【実践報告】 笠井兵彦 下越地域いのちとこころの支援センター専門相談員				
内容・方法	○講義内容 ・情報提供：新潟県の自殺の現状と対策 ・講義Ⅰ：自殺対策 どう気づいて、どう対応するか ・講義Ⅱ：自殺予防の関わり ・実践報告：新潟県いのちとこころの支援センター専門相談員 ○研修方法：講義と演習				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上 ④アンケートの意見 ○参加者数 35名 38%【達成・未達成】 ○アンケート結果（回収率51%） ・理解度 100%【達成・未達成】 ・自己課題の達成度 98.7%【達成・未達成】 ○受講者の意見 ・関わりが難しいケースに関して、支援者としての心構え、具体的な関わり方の知識が得られ、グループワークで考えを共有することができました。ありがとうございました。 ・自殺企図のある患者さんの背景や考え方がわかりました。実践に役立てることができた内容でした。ありがとうございました。				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した・達成しなかった】 ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：質問時間も確保でき、時間配分も適正であったと考える。 ・アンケート結果：研修のねらいと研修内容の整合性についてほぼ100%達成できたとの意見があり、研修評価は達成できたといえる。 ○総括 研修会開催の良かった点・改善点、今後の継続について ・参加者から肯定的な意見が多く、専門的な内容が聞けて、実践にすぐ活用できる内容で良かった。今後も継続した研修開催が望ましい。 ・ZOOMでの対応はなかなか難しい部分は相変わらずだった。				
課 題	○ハイブリッド研修での開催を検討する。				
担当者	教育委員				